

みなかみ町 重層的支援体制整備事業



群馬県最北端に位置し、県内最大の面積を有するみなかみ町は、平成17年10月1日、月夜野町、水上町、新治村の2町1村が合併して誕生。

谷川連峰を県境として新潟県と接しています。2,000m級の山々に囲まれた町の中央を利根川の清流が流れ、その周辺には18の温泉地が点在し群馬県を代表する温泉郷です。

近年では、利根川の流れにゴムボートで挑むラフティングが、国内有数のスポットとして多くの若者に人気です。

■面積	781.08km ² (全国の市区町村 71位) (全国の町 16位)
■人口計	17,442人(R5年4月1日現在)
男	8,535人
女	8,907人
	(高齢化率 41.9%)
■世帯数	7,882世帯(住民基本台帳に基づく数値)

みなかみ町重層的支援体制整備事業への取組

令和3～4年度 移行準備事業

R3（社協へ委託開始）

- ・事業に関係する組織や機関の拾い出し
- ・町の福祉的事業一覧から重層での対象事業検討
- ・相談窓口や相談室の設置
- ・職員体制 ・社協との連携の見直し
- ・多機関協働事業と現状の相談支援のスキーム等検討

R4（基幹相談支援センターへ委託開始）

- ・各重層事業における制度概要の把握・理解
- ・多機関での相談受付・参加支援を運用、課題検討
- ・勉強会の実施

令和5年度～ 本事業開始

令和4年度 重層的支援体制整備事業への移行準備事業 WG及び勉強会の実施状況

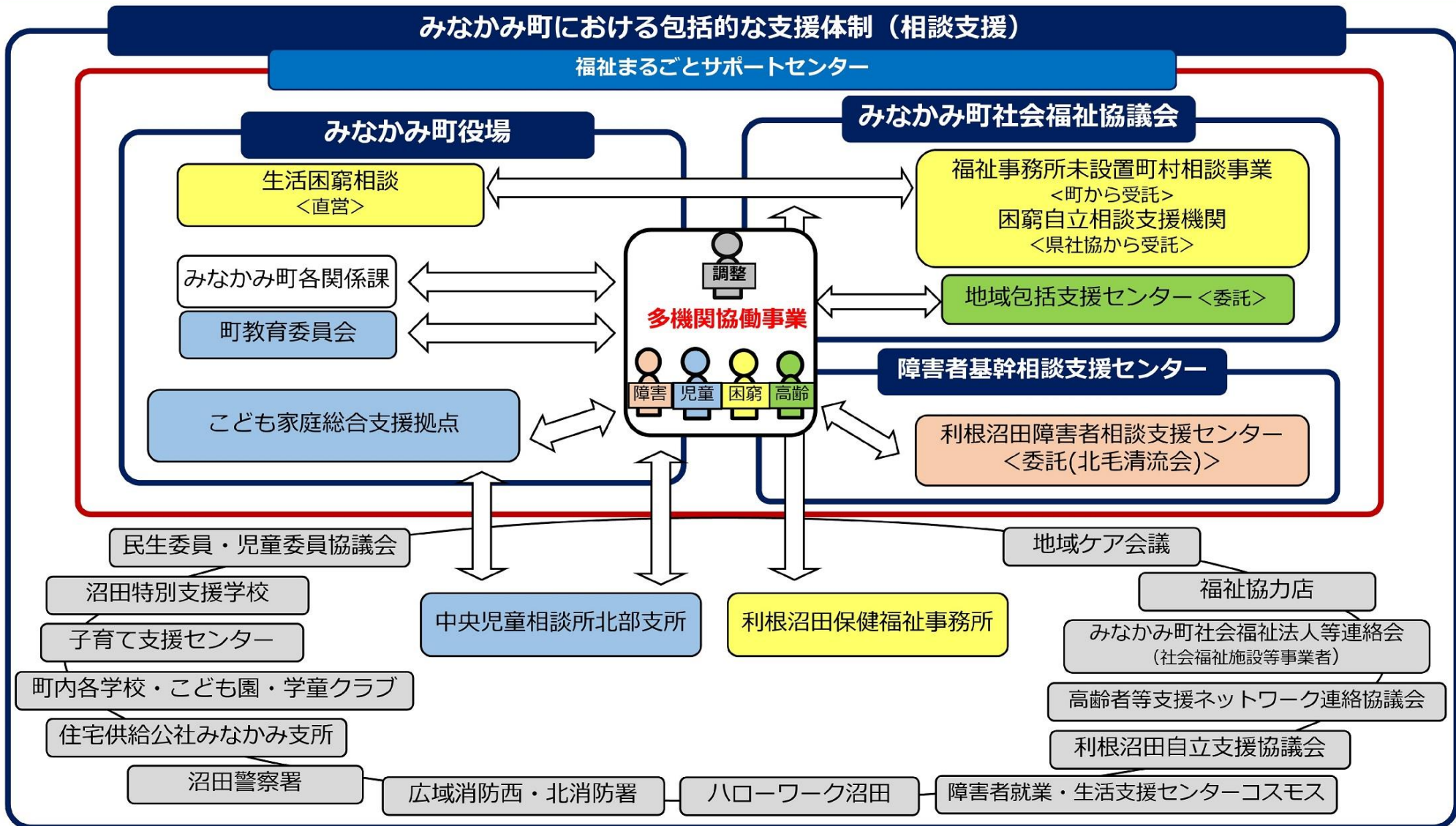
	月日	WGの内容	参加者数	勉強会のテーマ、講師	参加者数 ZOOM含
1回	4月19日	事業概要の説明/今年度の事業予定について *国資料により事業概要説明、関係機関への協力依頼名簿の確認	19	「障害者手帳の基本」 講師：利根沼田障害者相談支援センター所長 仲丸守彦氏	53
2回	5月17日	支援フローについて/来庁者件数調査について *相談者の支援方法（フロー）について協議、1Fフロアの来庁者調査	20	「障害者総合支援法について」 講師：利根沼田障害者相談支援センター所長 仲丸守彦氏	45
3回	6月21日	参加支援について *参加支援について国通知等により検討、ひきこもりサロン・見守り安心サポーター・地域の居場所をチラシにて情報共有	23	「生活困窮者自立支援事業について」 講師：みなかみ町社会福祉協議会自立相談支援員 関しのぶ氏	49
4回	7月19日	包括的相談支援・重層的支援会議について *本町版「相談受付・申込票」について協議、複雑・複合化した事案は多機関協働事業につなぐことを確認、重層的支援会議開催方法等について協議	18	「生活保護制度について」 講師：利根沼田保健福祉事務所地域支援係長 狩野哲博氏	37
5回	9月20日	重層的支援相談ルートについて *本町版「相談受付・申込票」及び「アセスメントシート」について協議、4つの属性ごとの情報照会シートについて協議	17	「発達障害について」 講師：特定非営利活動法人リンケージ理事長 石川京子氏	50
6回	10月18日	来年度予算について *R5予算編成について協議、県主催市町村意見交換会にて重層本事業実施市町村の状況を共有	20	「介護保険制度について」 講師：みなかみ町町民福祉課高齢介護係 田村一美氏	42
7回	11月15日	（社協及び事務局）地域づくり事業・参加支援事業打ち合わせ *蔵カフェ・わら細工の家を居場所づくりについて検討	12	「ひきこもり～私たちにできること～」 講師：群馬県こころの健康センター相談援助第2係長 高橋理恵氏	40
8回	12月20日	ひきこもり等居場所について/アウトリーチ調査について *居場所の企画について検討、支援に繋がっていない障害者手帳所持者60名にアウトリーチ（アンケート調査）の実施方法について協議	16	「児童・高齢・障害それぞれの虐待対応を整理」 講師：みなかみ町子育て健康課 林昌子氏、地域包括支援センター 田村一美氏、利根沼田障害者相談支援センター 仲丸守彦氏	47
9回	1月17日	ひきこもり等居場所について/実施計画書（案）について/「福祉まるごとサポートセンター」の名称について *居場所の企画について再提案、子ども食堂についての進捗情報、計画（案）の協議検討、名称はそのまま使用	16	「重層的支援体制整備に向けた地域での関係づくりと基本となる相談支援」 講師：筑波大学人間系障害科学域教授 小澤温氏	92
10回	2月21日	ひきこもり等居場所づくりについて/サポートセンター広報用チラシについて *居場所「マッサージの会」・子ども食堂「〇〇食堂みなかみ」実施要領・開催通知の確認周知、4月1日チラシを各戸配布にて周知	14	「コミュニケーションってなに？」 講師：群馬整肢療護園療育部長 角田淳氏	43
11回	3月22日	今年度のまとめと次年度以降の取組について/重層的支援会議	11	「今年度のまとめと次年度以降の取組について」 講師：みなかみ町社会福祉協議会事務局長 佐藤正行氏・利根沼田障害者相談支援センター 仲丸守彦氏・みなかみ町町民福祉課障害福祉係 鈴木茂範氏	35

【みなかみ町】重層的支援体制整備事業の実施イメージ（R5～）

【I 相談支援】

- ・町が主体となり、町社協、障害者相談支援センターと連携（一部委託）して実施します。
- ・全体の調整役（コーディネーター）のもと、4分野の担当者の協働により多機関協働事業に取り組みます。
- ・4分野の相談支援機関のほか、社会福祉法人等連絡会や福祉協力店等の協力を得て、潜在的な相談者をみつけて支援につなげます。（アウトリーチ）

みなかみ町における包括的な支援体制（相談支援）



【みなかみ町】重層的支援体制整備事業の実施イメージ（R5～）

【Ⅱ 参加支援・Ⅲ 地域づくりに向けた支援】

- ・ ふれあいいきいきサロンなど地域住民が相互に交流を図ることができる拠点を整備する。
- ・ 見守り安心サポーターや地域福祉協力店などを増やし、近隣住民や来客者の心配ごとやちょっとした変化を福祉まるごとサポートセンターに繋いでもらうなど緩やかな見守りをお願いする。
- ・ 社会福祉法人、医療法人、介護事業者等で構成されている「社会福祉法人等連絡会」と連携し地域貢献の充実や地域課題の解決を目指す。

みなかみ町における包括的な支援体制（参加支援・地域づくりに向けた支援）

福祉まるごとサポートセンター

みなかみ町役場

みなかみ町社会福祉協議会

◆町の役割

- ・ 多機関協働事業の実施体制の構築
- ・ 関係者、関係機関との役割整理
- ・ 事業全体の調整役の選定及び育成

地域活動支援センター
（基礎事業）＜委託＞

地域子育て支援拠点事業
＜直営・補助＞



生活困窮者支援等のための地域づくり事業
＜委託＞

一般介護予防事業
＜委託＞

生活支援体制整備事業
＜委託＞

◆町社協の役割

- ・ 地域住民のニーズ・生活課題の把握
- ・ 地域住民の活動支援・情報発信
- ・ 社会参加に向けた学びの教室の開催
- ・ 世代や属性を超えた「居場所づくり」
- ・ 社会資源の開発やネットワークの構築

開催

民生委員児童委員協議会

地域ケア会議
地域生活・ネットワーク部会

ボランティア等
（ふれあいいきいきサロン）

社会福祉法人等連絡会
（地域貢献）

見守り安心サポーター、福祉協力店

令和5年度
R029

4月1日

みなかみ町

開設します!

福祉まるごと サポートセンター

重層的支援体制整備事業

困りごと

孤独

お金が
なくて
生活
できない

ひき
こもり

物忘れ

ヤング
ケアラー

不登校

不眠
体調不良

育児
不安

誰にも
話せない

話してみませんか?

福祉まるごとサポートセンター

0278-25-8240

marugoto@town.minakami.gunma.jp

福祉相談窓口 [役場町民福祉課内]

相談受付 月～金曜日 8:30～17:15 (休日・年末年始を除く)

重層的支援体制整備事業とは

国の社会福祉法改正に伴い、令和3年度から新たに創設された事業です。ひきこもりや8050問題等の複合・複雑化した課題に対して、介護・障害・子ども・困窮の各分野における支援事業を一体的・重層的に実施することによって、新たな包括的支援体制を整備し、相談者に寄り添った伴走支援を行うことにより地域共生社会の実現を目指します。

みなかみ町では、町民の方々の困りごとを少しでも減らし、なくしていくことを目的に、令和5年4月より役場内に設置した「福祉まるごとサポートセンター」を中心に、この事業を行います。

福祉まるごとサポートセンターの

取り組み

困りごと



相談者

相談

支援

福祉まるごと
サポートセンター

困りごと
介護

困りごと
障害

子ども
困りごと

困窮
困りごと

連携して支援を行います

5つの主な事業

1

包括的相談支援

・4分野の相談支援体制

2

参加支援

・社会とのつながり
・就労準備支援

3

地域づくり

・居場所
・交際の場
・地域活動の活性化

4

多機関協働

・各機関の連携
・重層的支援会議

5

アウトリーチ

・訪問や電話等による相談
・伴走支援
・見守り安心サポーター

重層的支援体制整備事業に関するお問い合わせ

みなかみ町役場 町民福祉課 福祉相談係 TEL:0278-25-8240(直通)

福祉相談を包括的に

まるごとサポートセンター開設

みなかみ

みなかみ町は1日、福祉に関する相談を包括的に受け付ける「福祉まるごとサポートセンター」を新たに開設する。介護、障害、子ども、困窮の4分野の専門機関が連携して相談に対応し、支援につなげることで、ひきこもりなど各分野にまたがる課題に柔軟に対処できる体制づくりを目指す。

福祉まるごとサポートセンターは、利根沼田障害者相談支援センター、町社会福祉協議会、町の3者が合同で町民福祉課内に開設する。各機関の職員が相談員として在籍し、相談内容によって各機関が協力しながら支援に当たる。

同サポートセンターは、複合的な福祉課題の解決や地域共生社会の実現に向けて国が推進する「重層的支援体制整備事業」に基づき設置した。

への移行準備期間とし、23年度から本格的に実施する。県内では他に、太田市や玉村町なども同事業に取り組んでいる。

相談窓口は平日午前8時半～午後5時15分。電話窓口は(0278・25・8240)。

(多々納萌)

みなかみ町
福祉まるごとサポートセンター

困りごと

話してみませんか?

福祉まるごとサポートセンター
0278-25-8240

marugotogotowa.minakami.gunma.jp

「困りごと」のある方は、お気軽に話してみませんか?

- ・孤独
- ・ヤングケアラー
- ・ひきこもり
- ・不眠体調不良
- ・物忘れ
- ・育児不安
- ・不登校
- ・生活困窮
- ・誰にも話せない 等々

専門の相談員があなたのお話を伺います。秘密は固く守ります。

みなかみ

7月号 第213号
令和5年7月1日発行

編集/みなかみ町役場総務課
〒379-1-393 群馬県利根郡みなかみ町
☎0278-62-2111 FAX 0278-

みなかみ 歳時記

7月号 第213号

納期済/AS1日済

5月の出来事